クロードコード講座の練習として作った提案です。

講座の課題として作った個人の作品です。公式の資料ではありません。ページの内容は、2026年11月18日に確認した時点のものです。

Claude Code講座【初級】ページの改善提案

この改善なら、私ができます。

2026年11月18日

今のサイトで分かったこと

受講生として申し込んだ私の目線と、今のページ（2026年11月18日に確認）を見比べました。

私が申し込むときに迷ったのは、価格の負担、「本当に役に立つか」、「自分にできるか」です。下の表の「知りたいこと」があれば、安心して申し込めたと思います。支払いでは、別の支払いサイトへの登録が必要でした。

私が知りたかったこと	今のページ
公開曜日・提出期限	記載がありません。受講期間は「未定」、申込は「受付停止中」です。
添削の対象	第2週のnote記事だけです。よくある質問の中に書かれています。
かかる時間	「3週間」とあるだけで、1週あたりの時間は記載がありません。
画面・成果物のサンプル	記載がありません。
支払い方法	記載がありません。
Slack での交流	書かれていますが、見つけにくい位置です。画面はなく、登録が必要なことも目立ちません。
価格の理由	書かれていますが、ページ下のほうの紹介の中です。
合わなかったとき・返金	記載がありません。
受講後の仕事へのつなげ方	ポートフォリオの公開までは書かれています。案件の取り方や副業の流れの説明は見当たりません。

よくできている点：非エンジニア・未経験向けと明記／3週間で成果物が残る／講師の経歴／メンターへの質問と添削／無料の個別相談／クラウドワークス運営という信頼。受講生同士の Slack 交流は、受講して私が一番よかった点です。

受講生の声は、私1人の答えです。ページの内容は変わることがあります。

似たサービスとの違い

Claude Code や生成AIを学べる9つのサービスの公式ページを、2026年11月18日に確認しました（DMM 生成AI CAMP、テックキャンプ、Udemy、Schoo、Inflearn 2講座、SHIFT AI、デジハク、侍エンジニア）。

比べた点	今のページ	似たサービスで確認できたこと
日程・時間	公開曜日・期限・1週あたりの時間の記載なし	DMM：自習約20.5時間＋課題約14.5時間／Udemy：動画6時間25分／テックキャンプ：全4回・約1時間（最終回のみ約90分）
無料で試せる入口	30分の無料個別相談のみ	テックキャンプ：無料の4日間ライブ（Claude Pro以上の加入が必要）／Inflearn：無料講座／Schoo：無料会員
受講後の仕事への導線	ポートフォリオ公開まで。案件の取り方の説明は確認できなかった	SHIFT AI：案件獲得の5ステップ（提案・営業〜契約・継続）／DMM：「実案件」の記載（収益の数字は確認できなかった）
画面・成果物のサンプル	記載なし	DMM：制作物の例を掲載
受講者の声	note記事3件へのリンクのみ	Udemy：評価4.3（613件）／Inflearn：評価4.9（853件）
返金・保証	記載なし	SHIFT AI：入会8日以内の返金（年払い・生涯保証）。多くは記載なし
他との違いの説明	記載なし	DMM：他社との比較表を掲載
交流の場	Slack で同期生と交流（画面なし）	DMM：受講生コミュニティ／SHIFT AI：Discordの相談室

価格の位置

本講座は39,600円で、無料〜数千円の動画講座と、約45万〜66万円のマンツーマン型スクール（侍エンジニア）の中間です。月額型は約1.6万〜2.2万円（DMM、SHIFT AI）です。

この講座ならではの点

- 自己紹介スライド → note記事 → 公開サイトと、成果物が順番に残る3週間の流れ（調べた範囲で、同じ構成は確認できませんでした）
- note記事の添削、「Web改善の提案資料」を作る課題

分かったこと：「自分にできるか」という不安には、ページがよく答えています。一方で、「日程・時間」と「価格に見合う効果（受講後の仕事）」は、似たサービスのほうが具体的に書いている点があります。次のページから、この差を埋める改善案のうち、私が担当できるものを挙げます。

価格や表記は変わることがあり、各社の自己申告の数字を含みます。デジハクの料金は、公式ページで確認できなかったため、金額には入れていません。「確認できなかった」は、ページ上に見つけられなかったという意味です。効果の大きさは見立てで、申込数などのデータは見ていません。

選んだ改善案　案1

日程・提出期限・添削対象・時間の一覧表を、ページの上に置く

課題

申し込む前に知りたい「公開曜日・提出期限・添削の対象・かかる時間」が、ページにありません。受講期間は「未定」で、添削が第2週のnote記事だけであることも、よくある質問の中にあります。DMM・Udemy・テックキャンプは、時間や日程を書いています。

変えること

週ごとに「いつ見られるか／何をいつまでに出すか／添削があるか／目安の時間」を1枚の表にして、価格の近くに置きます。「添削はnote記事のみ」も、この表に入れます。

期待できる変化

申し込む前の「続けられるか」「自分にできるか」の不安が減ります。問い合わせで多い質問が減る可能性もあります。効果を数字でお約束することはしません。

効果の大きさは、大と見ています。申し込む前の「続けられるか」の不安に、直接答えられるためです。

私ができること

表と説明文の作成を担当できます。

- 営業事務で納期の回答を担当し、現場とやり取りする担当者に相談しながら、情報を整理して回答してきました。
- イベントの運営で、シフトの組み方を Excel の表にまとめて提案し、採用されました。
- メールや報告書を、上司・取引先・お客様など、相手に合わせて書き分けてきました。
- 受講生として、この表がほしいと自分で感じました。

日程や時間の中身を決めるのは運営の方です。私は、決まった内容を分かりやすくまとめます。

運営に確認したいこと

実際に提案するなら、公開曜日、提出期限、1週あたりの目安時間、添削の対象になる課題を教えてください。決まっている部分だけでも、先に進められます。

改善案の表のイメージ（私が考えた例です。公式ページの表ではありません。「未確認」は、運営に確認して入れる所です）

週	課題	動画の公開	提出の期限	添削	目安の時間
第1週	自己紹介スライド	未確認	未確認	未確認	未確認
第2週	note記事	未確認	未確認	あり	未確認
第3週	公開サイトほか	未確認	未確認	未確認	未確認

選んだ改善案　案5

受講後に、仕事・副業へどうつなげるかを書く

課題

この講座は、学んだことを収入につなげたい人に向けて作られていると、受講して感じました。その狙いを、申し込む前のページでも伝えられると考えました。

ページの下のほうに、クラウドワークスで働くフリーランス・副業の人を増やすことが目的、という説明があります。しかし、収入や副業の進め方、受講後に案件を取る流れの説明が見当たりません。私も「仕事・副業につながりそう」と期待して申し込みましたが、その根拠はページから見えにくく、「価格に見合うか」という迷いにもつながりました。SHIFT AI は、案件獲得の流れを書いています。

変えること

受講後の流れを書きます。たとえば、できた成果物（スライド・note・公開サイト）をどう使うか、クラウドワークスでどんな仕事が求められているか、最初の一歩は何か、です。収入の金額は、約束するようには書きません。

期待できる変化

「価格に見合う効果があるか」という不安に、答えを示せます。副業につなげたい人が、受講後の行動をイメージしやすくなります。効果を数字でお約束することはしません。

効果の大きさは、大と見ています。受講料に見合うかという迷いに、答えを示せるためです。

私ができること

構成と文章を担当できます。

- 「仕事・副業につながりそう」と期待して申し込んだ、受講生の立場で書けます。
- 営業事務・製造事務・受付事務の経験があり、副業を考える事務職の人の目線を持っています。
- メールや報告書を、相手に合わせて書き分けてきました。

実際の仕事のデータや受講生の事例は、運営の方の情報をもとに書きます。私が用意することはできません。

運営に確認したいこと

実際に提案するなら、求められている仕事についての情報、公開してよい受講生の事例、使ってよい表現の範囲を教えてください。収入の数字は、約束と受け取られないよう、一緒に表現を決めます。

構成のイメージ（私が考えた例です。中身は、実際に提案するなら運営の方の情報をもとに決めます）

受講中に できる成果物	成果物の 見せ方を整える	求められている 仕事を知る	最初の一歩を 決める

選んだ改善案　案2

Slack での交流を、画面つきで紹介する

課題	講座ごとの Slack グループで交流できることは書かれていますが、見つけにくい位置にあり、画面がありません。私は、申し込む前は交流の様子がイメージできず、Slack への新規登録が必要なことも事前に分からず、戸惑いました。実際には、全員が Slack に入って気軽に交流できる場で、受講して一番よかった点でした。画面を見られていたら、もっと早く申し込んでいたと思います。
変えること	最初に「Slack（チャットツール）への登録が必要です」と書きます。交流の様子が分かる画面（個人名は隠します）と、使い方の短い案内を載せます。
期待できる変化	「一人で進めるのが不安」という人に、交流の価値が伝わります。登録が必要なことを事前に知れて、申し込んだあとの戸惑いが減ります。効果を数字でお約束することはしません。 効果の大きさは、大と見ています。申し込む前の「一人で進めるのが不安」という迷いに、交流の価値を伝えられるためです。
私ができること	**紹介文・案内文・ページの構成**を担当できます。 • 受講生として実際に交流して、よかったと感じた点を、体験から書けます。 • 他社の担当者、ボランティア、高校生から大人までが関わるイベントの運営で、担当者と小さなことも共有しながら進めました。 • 受付事務で、日頃の会話を大切にして、人との関わりをつくってきました。 画像素材の用意は、いただいた素材をもとに進めます。
運営に確認したいこと	実際に提案するなら、画面を公開してよいか（受講生の投稿の扱い）をご判断ください。許可をいただけたら、載せてよい画面の素材をご用意ください。

案内文のイメージ（私が考えた例です。公式ページの文ではありません）

Slack（チャットツール）への登録が必要です。

受講生同士で、課題の提出、メンターへの質問、気軽な交流ができます。画面のイメージは、こちらです。【画面】

選ばなかった改善案の一覧

ほかにも7つの改善案があります。運営の方のご判断が必要なもの、画面やサイトのデザインが中心のもの、効果が小さめのものは、今回は選びませんでした。ご相談しながら、順番に進められます。

改善案	選ばなかった理由	私が担当できる部分
案3 支払い方法と、 申込後の手順を案内する	決済の仕組みや分割払いは、運営の方のご判断が必要です。	案内文と、申込から受講開始までの手順の書き方
案4 「合わなかったらどうなるか」 を書く	返金・キャンセルの方針は、お金に関わり、運営の方が決めることです。まず話し合いの材料にしたい案です。	やめたいときの対応を、誠実な言葉にまとめる文章
案6 受講者の声を、 ページ上で読める形にする	効果は中程度の見立てです。掲載には、ご本人と運営の許可が必要です。	声の要点を数行にまとめる文章。受講生としての聞き取り
案7 Claude Code の画面と、 成果物のサンプルを載せる	画面やサイトのデザインは、私の得意分野ではありません。公開の許可も必要です。	サンプルの選び方と、説明文（案2と一緒に進められます）
案8 無料で試せる入口 （体験動画・ミニ講座）をつくる	講座内容を無料で出すか、費用や手間をかけるかは、運営の方のご判断です。	体験の紹介文、案内の文章、台本の下書き。動画の撮影・編集は担当しません
案9 「この講座の違い」を 上のほうに書き直す	効果は中程度の見立てです。登録者数など、数字の確認が先に必要です。	似たサービスの調査をもとにした文章
案10 受付停止中の間の案内を整える	再開の時期や、先行案内などの方針は、運営の方のご判断です。	ページの案内文、LINE配信文

進め方（実際に進める場合の案）

まず
案1の確認事項を、運営の方からいただく

→

次に
一覧表と、ページに載せる文章の案を、私が作る

→

確認
運営の方に見ていただき、私が直す

→

そのあと
案5、案2の順に、同じ流れで進める

スケジュールは、ご相談させてください。

この資料は、Claude Code講座の練習として、受講生が個人で作ったものです。クラウドワークスアカデミーの公式の資料ではありません。ページの内容と他社の情報は、2026年11月18日に確認した時点のもので、変わることがあります。